

よしかわ市民ネットワークとは

よしかわ市民ネットワークは「私たちのまち 私たちの手で」を合言葉に、吉川をより住みやすいまちにしたいと願う市民で設立しました。

そして、自分たちの声を市政に届ける役割として自前の議員を議会に送り出すことを決めました。

「住民のレベル以上の政治は行われたい」私たち市民が市政に関心を持ち、参加することで、はじめて住みやすいまちが実現します。

市民ネットワークの3つのルール

- ① 議員は最長3期12年で交代
- ② 議員報酬は市民の政治活動資金に
- ③ 選挙は市民のカンパとボランティアで



私たちのまち
私たちの手で

岩田京子 はこんな人

●経歴●

獨協大学英語学科卒業

元中学校英語教諭 吉川市内中学校にて非常勤講師

元生活クラブ埼玉単協理事

1999年「みどりの会」(2001年より代表)

2001年「ごみと生活をみつめる会」

(エコエコ菜園塾2008を主宰)

2002年「吉川マイバッグの会」

2004年「環境まちづくり委員会」(現環境ネットワークよしかわ)

2005年「シャボン玉クラブ」など

数々の環境団体発足・運営に携わっている

他WWFジャパン、埼玉県生態系保護協会、エコ・リサイクル協会会員

環境を広めるには人の輪も大切と

2011年 生活クラブ拠点事業 くらぶルーム輪 運営委員長

(コミュニティスペースくり)

2014年 寺子屋くり実行委員長として

夏・春休みに寺子屋を開催

●資格●

- ・環境省環境カウンセラー
- ・埼玉県環境アドバイザー
- ・生態系保護指導員マスター
- ・省エネルギー普及指導員
- ・家庭の省エネエキスパート
- ・うちエコ診断士

●趣味● フラダンス ヨガ

●家族● 夫、20歳息子、18歳息子 7歳娘

●資格● きよみ野3丁目に在住

ブログ 「ECO きよんのECOオタク生活」
plaza.rakuten.co.jp/ecomidori

フェイスブック facebook.com/kyoko.iwata.376

岩田京子



よしかわ市民ネットワーク

吉川市

内部討議資料

いのち・子ども・未来のために



地域で支え合うコミュニティの育成

地域で育てる子ども達

歳をとっても、障がいがあっても、地域で暮らし、学び、働く場の充実
地域に必要な市民事業を支援するしくみ作り



持続可能な循環型社会の実現

水に強いまちづくりのために雨水対策の強化

総合公園などの豊かなみどりの創出

有害な化学物質の削減(排ガス、フロン、放射能など)

自転車が安心して走れる道路整備

地産地消をすすめる

吉川産の作物を遺伝子組み換えから守り、ブランド化をはかる



市民が主役のまちづくり

市民と行政のパートナーシップの推進

市民に開かれた議会 議会のインターネット中継の実現へ

岩田京子 の現在の地域活動

環境

- 市内の小中学校で「環境学習」を行う
「環境早わかり講座」「間伐材でマイ箸づくり」
「食と環境」「牛乳パックではがきづくり」など
- 環境にやさしいライフスタイルの提案
「みどりのニュース」「エコ生活ガイド」の発行
- 環境学習会を開催
「手作り太陽光パネル」「明日のエネルギーを考える」
「日本の森林を考えよう」「添加物を考える実験教室」
- 給食の廃油を精製し、EMリサイクル石けんを製造
- 「エコエコ菜園」を運営
生ごみをたい肥化し、ごみ減量をはかり、遺伝子組み合せフリー
ゾーンの菜園をメンバーと共に楽しむ
- 吉川市との協働で「生ごみ段ボールコンポスト」の推進
- マイバッグ推進活動



たすけあい

- 寺子屋事業
寺子屋ぐるりを夏・春休みで開催し、たくさんの
子ども達と交流
- コミュニティスペースの運営
- たすけあい生活サポート
障がいのある高齢者の家事援助や養護学校の
児童の送迎を担当
- ファミリーサポート
保育園後の子ども達を自宅で受け入れ

